

# 社会技術研究開発事業について

5月15日  
独立行政法人 科学技術振興機構  
社会技術研究開発センター

# 科学技術振興機構の概要

## 新技術の創出

- ・戦略的創造研究推進事業
- ・**社会技術研究開発事業**
- ・戦略的イノベーション創出推進事業[21年度新設]
- ・研究開発戦略センター事業等

## 新技術の企業化開発

- ・研究成果最適展開支援事業[21年度新設]
- ・若手研究者ベンチャー創出推進事業[21年度新設]
- ・技術移転支援センター事業
- ・地域イノベーション創出総合支援事業等

## 科学技術情報の 流通・促進

- ・文献情報データベース
- ・研究者・研究成果等のデータベース
- ・バイオインフォマティクス推進センター
- ・科学技術情報発信・流通総合システム等

## 科学コミュニケーションの推進

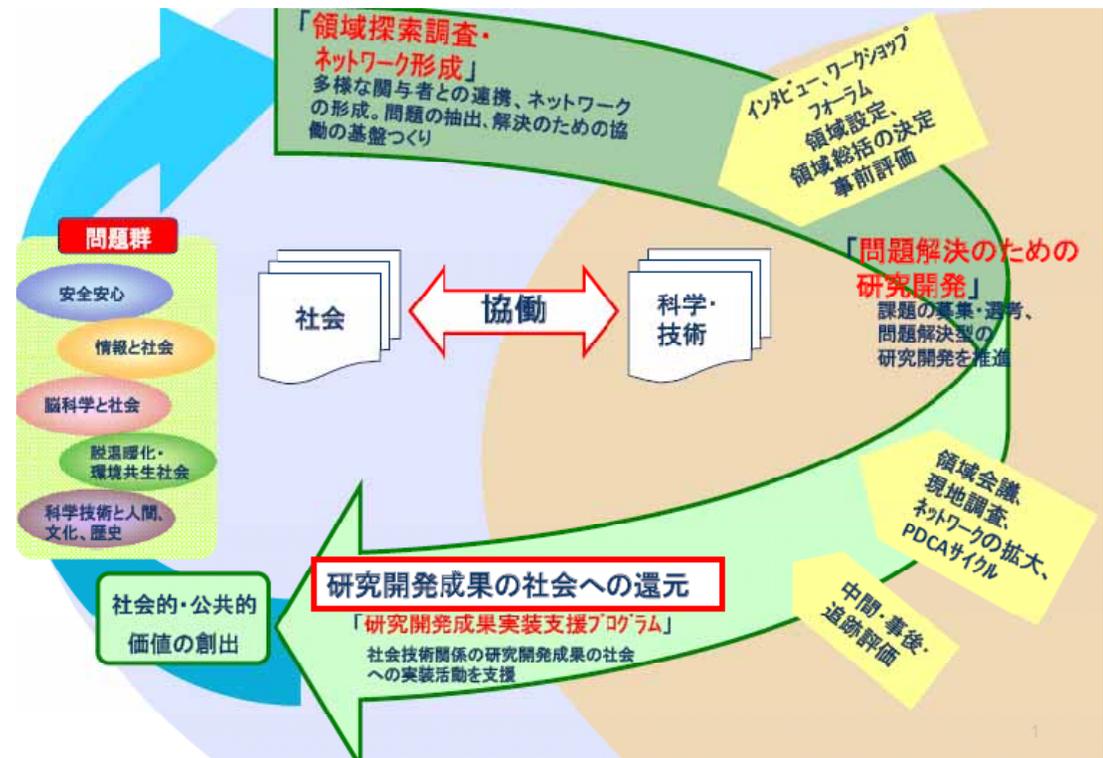
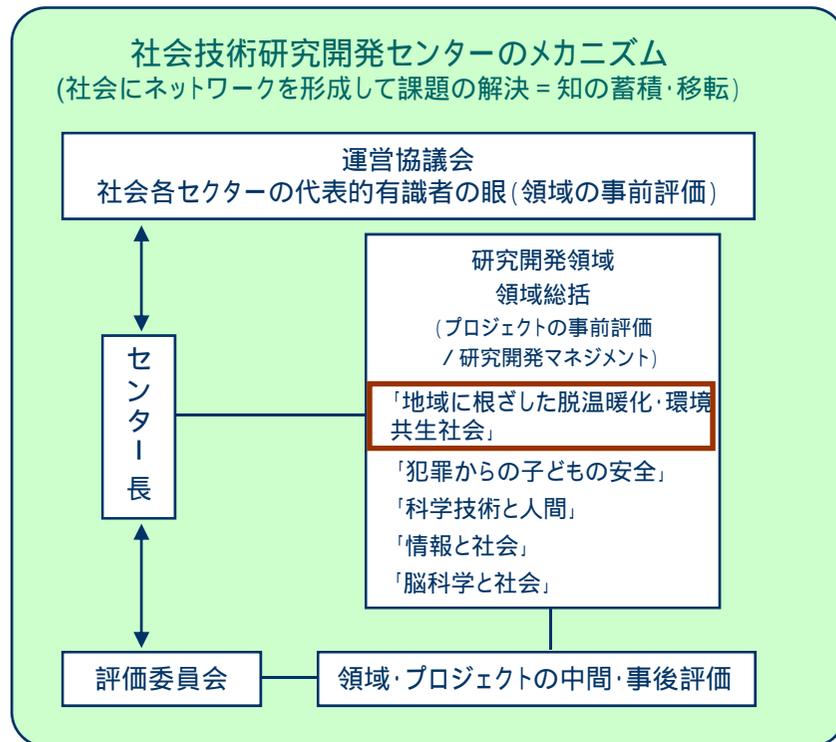
- ・理科支援員等配置事業
- ・スーパーサイエンスハイスクール支援
- ・日本科学未来館

## 研究交流・支援

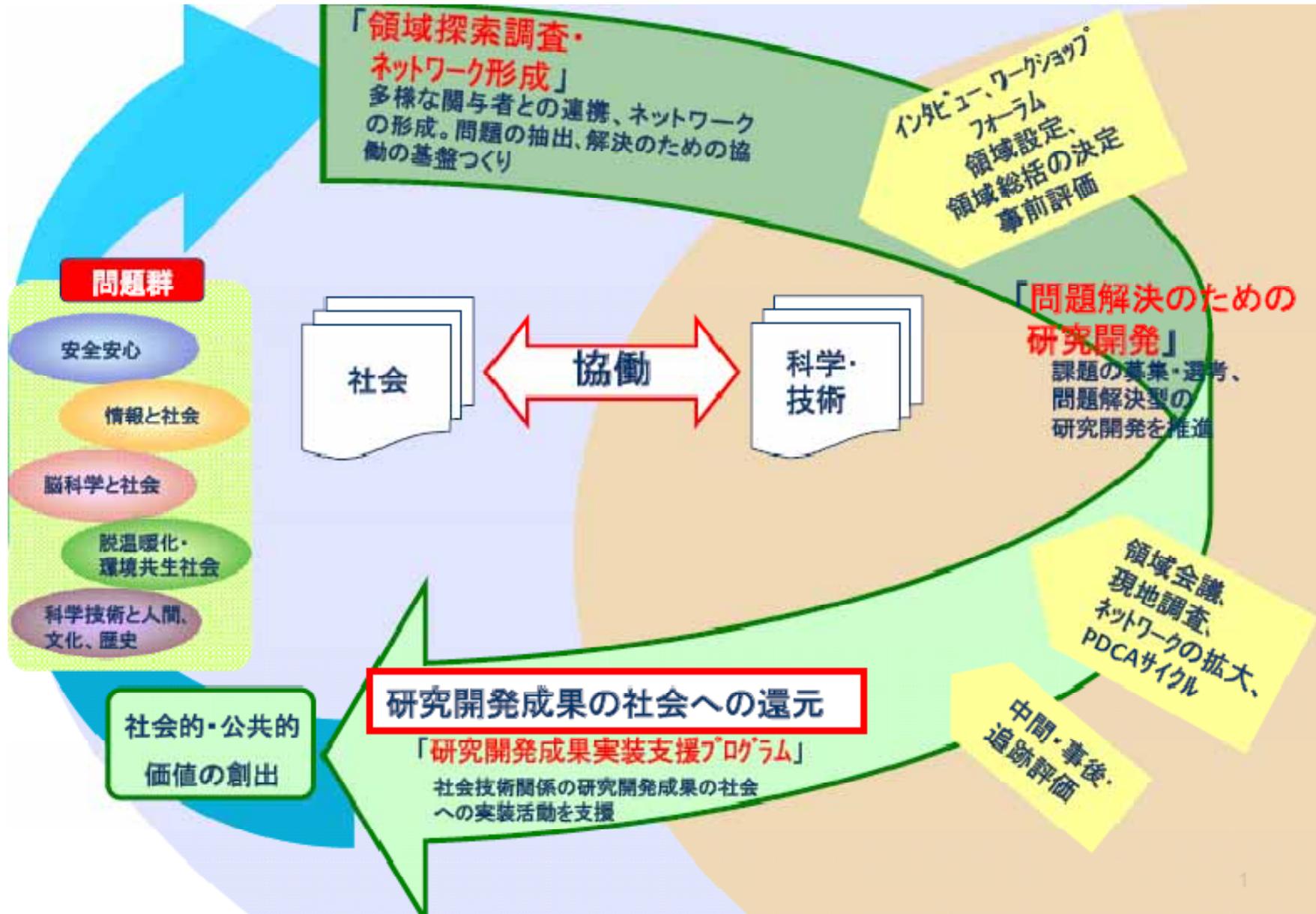
- ・戦略的国際科学技術協力推進事業
- ・地球規模課題対応国際科学技術協力事業
- ・地域結集型共同研究事業

# 社会技術研究開発事業

- 社会の具体的な問題の解決を通して、新たな社会的・公共的価値の創出を目指す。
- 社会問題の解決に取り組む関与者と研究者が協働するネットワークを構築。
- 自然科学と人文・社会科学の知識を活用した研究 開発を推進し、現実社会の具体的な問題解決に資する成果を得る。
- 成果の社会への活用・展開 (社会実装) を図る。
- 社会技術研究開発センターが競争的資金配分機関として事業を推進。



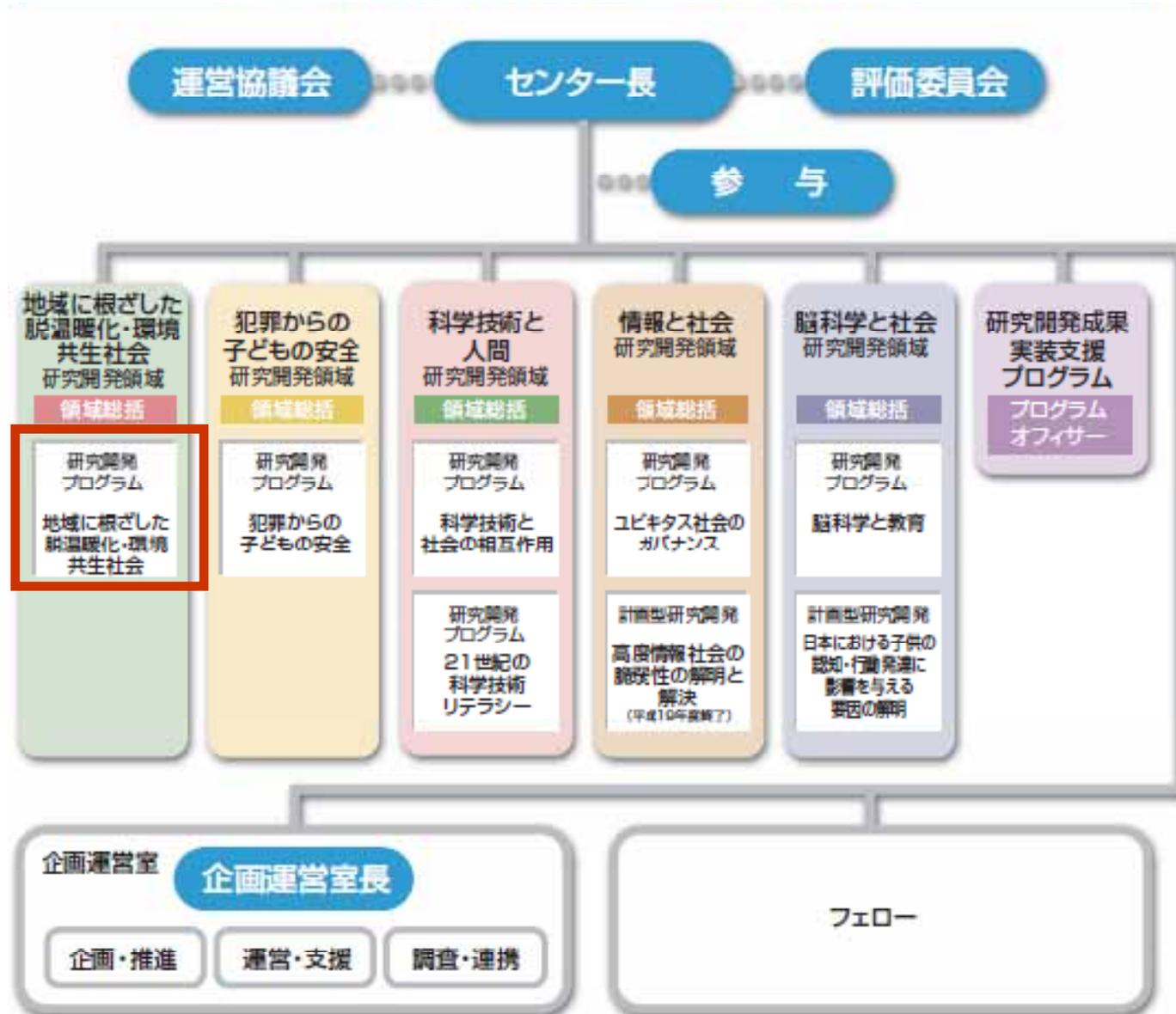
# 社会技術研究開発センターの活動サイクル



# 社会技術研究開発事業の進め方

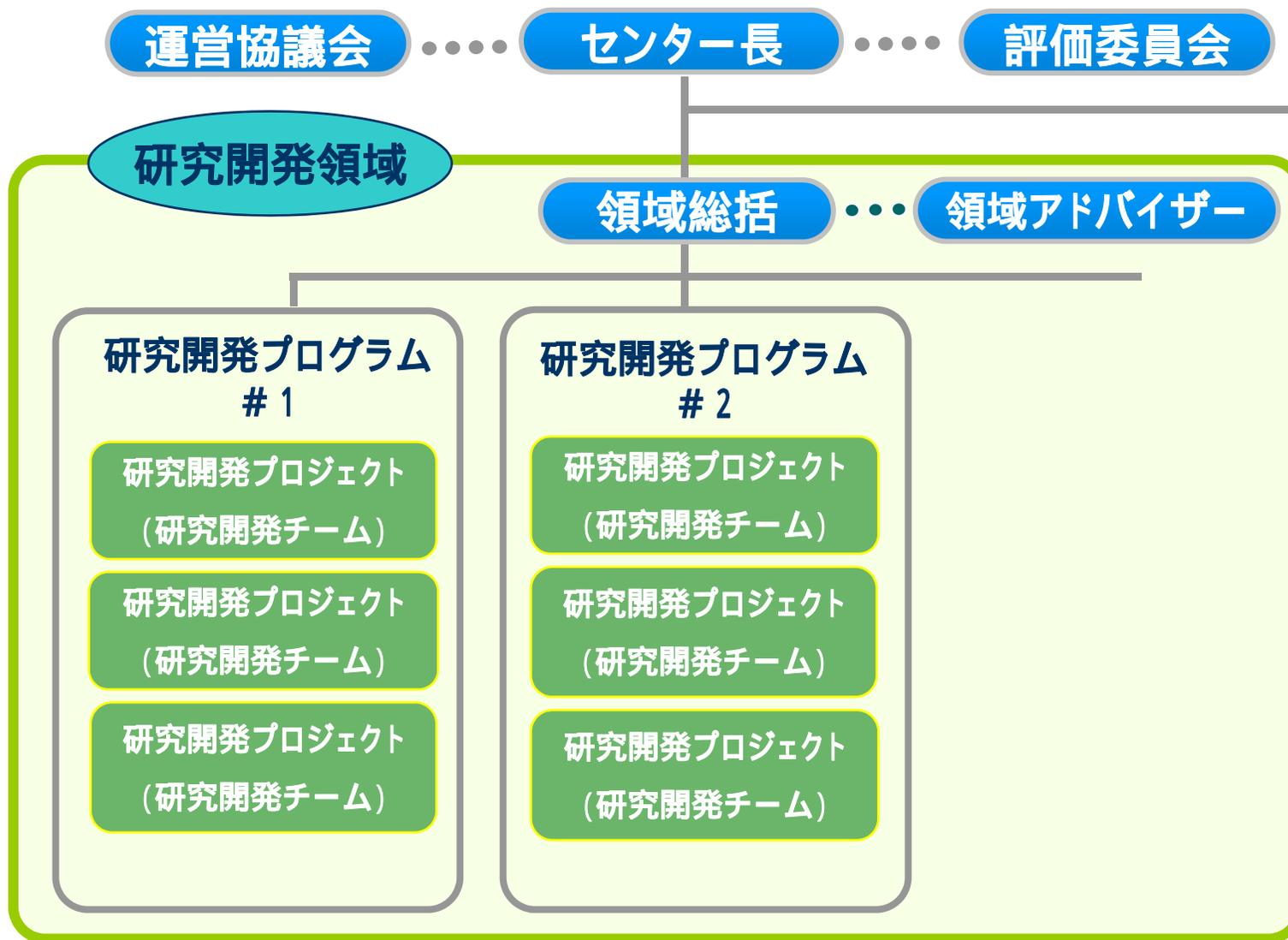
1. 社会の問題群に対して、多様な関与者の参画を得て十分な調査検討を実施。その結果を踏まえ、**本事業の研究開発によって問題解決に寄与する成果が期待できる分野**において研究開発領域を設定。
2. 研究開発領域の運営責任者である領域総括のマネジメントのもと、**明確な研究開発目標**をもつ研究開発プログラムを設定し、**研究開発プロジェクトを公募**し、研究開発を推進。
3. 研究開発成果が実際の社会問題の解決に寄与するものとなるよう、課題の設定、研究開発の実施、評価の**全ての段階で社会の関与者が参画**。
4. 研究開発の成果を社会に活用・展開し、具体的な社会問題を解決する取組み(社会実装)を別のプログラムで支援。

# 社会技術研究開発センターの体制



# 社会技術研究開発事業の推進体制

(研究開発領域・プログラム・プロジェクト)



運営協議会: 研究開発領域及びプログラムの事前評価を行う。

評価委員会: 研究開発領域・プログラム・プロジェクトの中間・事後評価を行う。

研究開発領域の運営の責任者である領域総括と、領域総括に対し専門的な助言を行う領域アドバイザーが、研究開発プログラム毎に研究開発プロジェクトを公募し、選考する。

領域総括補佐は必要に応じて設置する。

研究開発プロジェクトは問題解決に取り組む人々と研究者の両方を含む関係者の協働する研究開発チームを編成する。